Central Weekly Market Report

セントラル短資株式会社 総合企画部

今週(5月19日から5月23日)の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、引き続き調達ニーズが強く、出合いの水準は0.475~0.478%が中心となった。 無担保コールO/N物の加重平均レートは、週前半に一部の先から付利金利を上回る水準で試し取りが実施された影響もあり、0.478%まで上昇する展開となったが、21日(水)以降は通常取引が中心となった事から、0.476~0.477%での推移となり、23日(金)も概ね横這い圏での取引が中心となった。

ターム物に関しては、1W~3M程度の幅広い期間で引き合いが散見された。

日銀当座預金残高は、19日(月)に531兆円程度でスタートし、その後は大きな変動がなく概ね同水準での推移となった結果、23日(金)には531兆円台半ばでの着地見込みとなった。

●レポ市場

今週のGC O/N物は0.49~0.505%程度で推移する展開となった。 SC取引の個別銘柄では、2Y460~472回、5Y165~178回、10Y355~378回、20Y180~192回、30Y65~86回、40Y10~17回などで引き合いが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、3Mゾーンがやや軟調に推移した。

19日(月)に実施された1Y物入札は、事前予想より弱めの結果となったものの、その後のセカンダリーマーケットでは強含みで推移した。23日(金)に実施された3M物入札は、無難な結果となり、その後のセカンダリーマーケットでも底堅く推移した。

● CP市場

今週のCP市場は、鉄鋼、電気・ガス、不動産などの業態から大型発行が実施された。 市場残高については、4月半ば以降23兆円台での推移が続いており、22日時点では23.5兆円となっている。 発行レートについては、期間や銘柄により投資家の運用目線にばらつきが見られるなか、1M以内の短い期間では0.5%を下回る発行も散見された。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
5/19 (月)	37,498.63	1.480	144.88	0.478	0.490	5,310,100
5/20 (火)	37,529.49	1.515	145.29	0.478	0.493	5,315,600
5/21 (水)	37,298.98	1.515	144.23	0.477	0.494	5,300,600
5/22 (木)	36,985.87	1.560	143.35	0.476	0.491	5,307,600
5/23 (金)	37,160.47	1.545	143.83	0.477	0.493	5,315,800

来週(5月26日から5月30日)の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標	
5/26 (月)	3月のサービス産業動態統計速報(経済産業省 13:30) 3月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)		流動性供給 5/27発行 6,500億円		New York祝日(Memorial Day) London祝日(Spring bank holiday)	
5/27 (火)	4月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50)				4月の米耐久財新規受注 3月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 5月の米CB消費者信頼感指数	
5/28 (水)			40Y 5/29発行 5,000億円			
5/29 (木)	5月の消費動向調査(内閣府 14:00)			交付税借入 6/4借入 11,000億円	1-3月期の米GDP改定値	
5/30 (金)	5月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 4月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 4月の一般職業紹介状況(有効求人倍率 厚生労働省 8:30) 4月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 4月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50)	TDB3M 6/2発行 45,000億円	2Y 6/2発行 26,000億円		4月の米個人所得・消費支出(PCE) 5月のシカゴPM景況感指数	

●資金需給予想

単位:億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
5/26 (月)	0	2,000	2,000	国債買入		9,600	10,800	12,800	TB3M発行▲45,000償還45,000
日銀予想				CP等買入	▲ 200				国有林野借入▲419期日640
				国債補完	1,400				
5/27 (火)	1,000	5,000	6,000				0	6,000	財政融資資金(地方貸し)
弊社予想									流動性供給▲6,500
									交付税借入▲11,000償還13,000
5/28 (水)	500	▲ 6,500	▲ 6,000	全店共通	▲ 8,000		▲ 8,000	▲ 14,000	
弊社予想									
5/29 (木)	900	▲ 7,000	▲ 6,100				0	▲ 6,100	40Y発行▲5,000
弊社予想									
5/30 (金)	1,000	▲ 5,000	▲ 4,000				0	▲ 4,000	特別法人事業譲与税譲与金の払い
弊社予想									交付税借入▲11,000償還13,000
週間合計	3,400	▲ 11,500	▲ 8,100	_	▲ 6,800	9,600	2,800	▲ 5,300	_

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズの強い展開が見込まれる事から、0.477%近辺での出合いが中心になると予想される。債券レポGC T/N物は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、0.47~0.505%程度の水準で推移することが予想される。短国市場は、30日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、引き続き追加利上げへの警戒感が継続するなか、月末にかけて市場残高がどこまで積み上がるか注目される。

主要なイベントは、国内では、30日(金)に5月の都区部消費者物価指数(CPI)、4月の完全失業率、有効求人倍率、4月の鉱工業生産・出荷・在庫速報、海外では29日(木)に1-3月期の米GDP改定値、30日(金)に4月の米個人所得・消費支出 (PCE)の発表などが予定されている。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長(登金)第526号 日本証券業協会加入

[◆]本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

[◆]本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

[◆]金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。